

保護者等からの放課後等デイサービス事業所評価の集計結果(公

公表:令和 6年 2月 20日

事業所名 こぼんはうすさくら盛岡緑が丘教室

保護者等数(児童数) 20 回収数 20 割合 100 %

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた 対応
環境・ 体制整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	13	7	0		・活動によってはぶつかってしまう様です。子ども達の体格の違いもあるので広い場所を希望します。	・活動の内容や部屋をテープで区切る。活動のやり方を個人、チームなど変えています。どうしても体格等の違いもありぶつかってしまう場合もあるので声掛けは必ず必要と致しております。
	2 職員の配置数や専門性は適切であるか	19	1	0			・配置基準を満たしていても送迎等で手薄になる場合は教室内(児発・放デイ)職員声掛け合い
	3 事業所の設備等は、スロープや手すりの設置などバリアフリー化の配慮が適切になされているか	18	1	1		・玄関の段差が気になる。スロープ等はあるのか。	・現在、スロープ等使用するお子さんがいません。可動式スロープ等も準備はしていませんが必要時検討致します。
適切な 支援の 提供	4 子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画*1が作成されているか	18	2	0		・しっかり作成されていると思う。 ・苦手な所も出来る様になる為に考えて頂いています。	・一つ一つ出来る事を増やしていきたいと思っています。保護者様にはお家でも行って頂く協力頂いています。
	5 活動プログラム*2が固定化しないよう工夫されているか	19	1	0		・毎日子ども達が楽しめるいろいろなプログラムを考えて下さり楽しく参加出来感謝しています。	・季節を感じられる行事や体力、知力、感覚など活動内容を考えています。毎日子ども達が楽しんで活動しています。
	6 放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか	2	13	5		・今その様な機会があるか分からないが、機会があれば積極的に参加させたい。 ・特になくてもよい。 ・分からない。	・改めて機会は設けてはいませんが、公的な場所へ行った場合、その場では障がいの有無に関係なく交流が出来る様子を大切にしたいと考えています。
保護者 への 説明 等	7 支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	19	1	0			・ご契約時にご説明しています。
	8 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができているか	15	4	1		・送迎時や連絡帳に丁寧に記入して下さい有難いです。 ・様子を伝えて下さり有難いです。	・連絡帳を使っている
	9 保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	13	5	2		・保護者の思いを受止めて頂いています。こぼんの先生とお話するとほっとします。	・送迎時など保護者様のお顔を見てお話が出来るのは職員もお家での様子などもお聞きすることが出来る様にして頂いています。
	10 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	8	8	4		・望んでいない。	・父母会は設けていません。 ・必要に応じ保護者様同士直接連絡と取り合っている様です
	11 子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知・説明し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	17	1	2			・保護者様とは、直接お話をさせて頂きご説明させて頂いております。本教室だけの事とせず他教室にも情報共有している。
	12 子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	19	1	0			・連絡帳に記載、もしくはお電話や送迎時にお伝えするようにしています。
	13 定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信しているか	15	4	1		・定期的にブログで活動の様子を見ています。楽しみです ・紙媒体で欲しい。	
14 個人情報に十分注意しているか	20	0	0			・施錠出来る棚に入れ、取り扱い、閲覧には十分気を付けるようにしています。	
非常時 等の 対応	15 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか	14	4	2		・各マニュアルを紙様田で保護者にもほしい。有れば情報共有できる	
	16 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	16	3	1		・毎月さまざまな災害について訓練やDVD視聴し訓練している	
満足 度	17 子どもは通所を楽しみにしているか	18	2	0		・この活動したい、お友達と〇〇して遊んだなど話をしてくれる。とても楽しみに通っている。	
	18 事業所の支援に満足しているか	17	2	1		・子どもに向き合い丁寧に関わって下さる。 ・利用中親、兄弟が気持ちのリセットが出来、また本児と向き合える。安心してお願いする事	・こぼんが子ども達にとって保護者様にとってよい場所になる様、職員も日々学びよき支援をして

280 60 20 0

78%

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和 6 年 2 月 20日

事業所名 こぼんはうすさくら盛岡緑が丘教室

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	3	0	・床にテープを貼り区切る。プログラムは活動内容によりチーム制(個人・チーム順番)にする。	・プログラムや利用児のタイプ、体格により狭い場合がある。
	2 職員の配置数は適切である	4	2	・配置は満たせても、送迎中や保護者対応、職員の勤務別により職員の手が足りないと感じる場合がある	・職員が送迎等で手薄の場合は教室内で協力している
	3 事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	2	0	・今現在杖や車いす利用児のご契約は無い。昇降が気になる方に声掛けや支えるようにしている。	・玄関、トイレに段差がある。必要があればスロープ等検討する
業務改善	4 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	6	0	・職員も業務の中で改善した方が良い事など会議や日々話し合いをしている	
	5 保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	6	0		・保護者様から頂いたご意見などは会議等で検討している。他教室への情報共有もしている。
	6 この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	5	0		・公開している
	7 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	3	0		
	8 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	5	0		・研修を行っている。支援について本なども準備し閲覧し情報収集している。
適切な支援の提供	9 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	8	0		・保護者様とは送迎時や連絡帳を使い話をしたり、面談をしている。その事を踏まえ個別支援計画に反映している
	10 子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	8	0	・ファイリングしておりいつでも見られる状態にある	
	11 活動プログラムの立案をチームで行っている	8	0	・日々話し合いをしながら内容を決めている。毎月職員交代で立案している。	
	12 活動プログラムが固定化しないよう工夫している	8	0	・生活に活かせる様なプログラムなども考えている	
	13 平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	6	0		
	14 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	4	0	・集団活動の中で個別課題が達成出来る様支援し次期計画に活かす。	
	15 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	6	0		・引継ぎ事項や子ども達の様子等を打合せ支援に活かしている
	16 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	6	0	・業務日誌、朝礼などで引継ぎ等をしている	・保護者からや引継ぎ事項子ども様子などの引継ぎしている。その事を踏まえ支援に活かしている。
	17 日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	7	0	・業務日誌の他、個別ファイルに記載している	・会議等で必要に応じて話し合いをしている
	18 定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	4	0	・日々利用時に保護者より利用児の様子を聞くなどし、モニタリング、個別支援計画にいかす。	
19 ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ合わせて支援を行っている	4	0			
	20 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	4	0		・児童発達支援管理責任者を中心に参加している
	21 学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	8	0		・学校からのお便り等も学校から保護者様からこぼん用に頂いている。
	22 医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている	2	0	・現在受入れは無いが、体調や病気などについてはその都度情報提供して頂いている	

関係機関や保護者との連携	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	8	0		
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	3	0	・今後その必要があれば提供していく	利用児の高校卒業生が未だ居ない。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	0	6		
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	0	6	・外で活動する場合は健常児の中に入る場合もあるため遊具の貸し借りや順番等その場に合うルールを声掛けをする。職員が間に入る。	・改めて時間は設けていない
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している	2	4		
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	8	0	・送迎時、連絡帳に記載し情報提供・共有している	
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている	3	1	・保護者より子育てなど相談やご家庭で欲しい事等がある場合は支援している	
保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	5	0		・契約時にご説明しています。
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	8	0	・相談等があった場合は送迎時にお話しをしたり、連絡帳に記載、改めて保護者様に来所して頂き話し合いを設けている	
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	0	6		・保護者会や活動などはしていない。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	7	0	保護者様へ報告とご説明をしている。相違が無いようにする。	
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	7	0	・利用予定表に予定を記載。ブログで活動の様子等を公開している	
	35	個人情報に十分注意している	8	0	・閲覧・取り扱いには十分気を付ける	・施錠出来る棚に収めている。
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	1	0	・連絡帳に記載、もしくは送迎時、お電話にてお伝えする。	
37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	3	0			
非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	8	0		
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	8	0	・月1回子ども達も含み行っている ・年二回は消防署と連携し訓練を行っている	
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	8	0	・研修を行っている。必要があれば保護者様へ相談している	
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	6	0	・必要な場合は保護者様と話し合いを持ち説明と同意書を交わす。	
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	8	0	・食物アレルギーの有無確認。有る場合は保護者から情報提供して頂いている	
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	8	0	・他教室で発生した事例についても共有している。	